

Management Viewpoint

立山登山に学ぶ撤退基準の重要性

妻と息子2人の4人で立山登山に出かけた。長野県大町側から立山黒部アルペンルートを経て富山県側に入り、剣岳を望む室堂平一帯を散策した。そして最終日には、トロリーバスやロープウェイがなかった頃の昔の登山道を、徒歩で黒部平まで下山するルートをとった。

一ノ越の峠を越えると登山者は私たちだけになり、途中には雷鳥が現れるなど静寂な中での登山を楽しむことができた。

しかし、峠を越えて1時間ほど下った時点で登山道が狭くなり、かつ右側の斜面がとても急な数百メートルのがけになっていることに気付いた。道幅と斜面は進むにつれて少しずつ狭く急になっていったため、気付くのが遅れたのである。筆者は家族を崖地に避難させ、対策を練った。

登山地図で確認するとあと数百メートルで東一ノ越を越え、安全な場所に抜けられそうである。せっきやくここまで来たのだから先に進みたい気持ちもあったが、この先はさらに急になっている。

ここで筆者は、出発前に決めておいた撤退基準に現状を当てはめてみた。その撤退基準は、「1歳の次男を専用リュックで背負っている状態で、6歳の長男が足を滑らせた時に支えきれぬかどうか」であった。結果として撤退を決意し、倍の時間をかけて道に戻ったのである。

企業経営において永続させるため、いろいろな新しい事業に取り組んでいる。しかしながら撤退基準が明確でないために、見込みのない事業を長年にわたって引きずってしまったり、それが常態化して止めるに止められなくなり、会社のアキレス腱になってしまったりする場合もある。

新事業に取り組む際には、「必ずやり遂げるのだ」という強い意志をメンバーで共有化、撤退の基準も明確にすべきである。

- ◆上記コンテンツは、タナベ経営 メールマガジン「マネジメントレター（無料）」バックナンバーより掲載しております。詳しくはこちら http://www.tanabekeiei.co.jp/member/mail_magazine/index.html
- ◆本レターの内容につきましては万全を期しておりますが、ご利用によって被ることのある損害に対しましては責任を負いかねますのでご了承ください。掲載された記事の著作権は、すべて(株)タナベ経営および原作者にあります。
発行・編集 株式会社タナベ経営

“次世代リーダー”に必要なノウハウがここに！



<http://www.tanabekeiei.co.jp/member/nlc/index.html>

ニュー・リーダーズ・クラブ(NLC)

若手経営者・後継者様、リーダーの方々にお届けする総合情報サービスです。インターネットやFAXによる次世代のリーダーにふさわしいサービスをご提供！



インターネットサービス

経営現場で培ってきた成功事例や豊富な実績に裏打ちされた改善ノウハウを「見やすく・分かりやすく・生かしやすい」全15種類の多様なコンテンツに集約。

リーダーズレポート

ビジネスリーダーのための情報をFAXでお届け。全国版と地域版の2枚/A4

経営CD

現場から得た“経営戦略の手法”をトップコンサルタントが解説。

収録時間：30分以上(1テーマ約15分×2～3名)/年間2枚



年会費(1名様) 18,900円(消費税込)
2名様以上 15,120円/名(消費税込)

会員特典として、タナベ経営が開催する各種セミナーを会員特別価格で受講いただけます！

お問合せ

(株)タナベ経営 ネットワーク本部
担当 北浦

住所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-3-41

TEL:06-7177-4006 E-mail: nw@tanabekeiei.co.jp